



資源は活用してこそ価値があります。そして、資源を活用して製品を作れば、それを輸送しなければなりません。イナダグループは、資源を循環させることで原料を作って加工メーカーに納め、今度はその原料から作られた製品を預かり、さらに目的地まで運ぶという、一連の物流システムの中で、独自の事業を展開しています。つまり、原料を加工して製品にするという製造部門以外の業務を担っているわけです。この一連の流れは国内だけにとどまらず、広く海外にもネットワークを拡げています。『マテリアル』『運輸』『貿易』。イナダグループを形成する、この3つの核が、それぞれ密接に関わりながら、地球環境を守り、産業を支えているのです。

“|=愛”が力。 地球環境を守り、産業を支えます。

イナダグループは、限りある資源の有効活用に、いち早く取り組んできました。

